

CMSで サクサク更新 ウェブサイト

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



text: 増田"maskin"真樹 illust: 小松恵

第8回

Movable Typeを使って情報配信サイトを作る④ 基本的なテンプレートタグで情報を操る

ウェブサイト
イントラネット
ホームページ



テンプレートタグは「情報の構造」をデザインする

スタイルシートが“見た目”のデザインなら、テンプレートタグは“情報の構造”をデザインするものだ。「タイトルの下に何を表示するか?」「コメント一覧はどこに表示するか?」「最新エントリーをトップページに何個まで表示するか?」といった条件を定義できる。難しそうだがそんなことはない。<MTEnterTitle\$>のようなタグの文字列をブロックのように並べるだけで基本的なことはできる。あとは具体的なイメージ作りとアイデア次第で魅力的なblogへと進化できるだろう。

HTMLタグに似ている テンプレートタグ

Movable Typeが出力するページは、XHTMLをベースに「スタイルシート」と「テンプレートタグ」でデザインされている。スタイルシートの得意分野がルック&フィールやレイアウトのデザインだとしたら、テンプレートタグは、情報コンポーネントの意味的なデザインをするもの

だと言える。どんなものがあるか、図1に示す。

テンプレートタグと言っても特別なものではなく、基本的には<MTBlogURL\$>のような、HTMLタグと同様な構造を持った、MTのテンプレートでのみ使える専用タグだ。テンプレートタグの名前は<MTEnteries\$>や<MTCalendar\$>のように必ず頭に「MT」が付いている。タグによって<タグ名> ~ </タグ名>のように開きタグと閉じタグのセットで使ったり、<

図1 テンプレートタグの種類

ウェブログデータ関連タグ MTBlogName、MTBlogURLなど15種類	アーカイブ用テンプレート関連タグ MTArchiveCategory、MTArchiveLinkなど9種類	トラックバック関連タグ MTPingURL、MTPingBlogNameなど10種類
エントリーのリスト / アーカイブ関連タグ MTEnteries、MTEnterPermalinkなど34種類	カテゴリ関連タグ MTCategoryLabel、MTCategoryCountなど7種類	検索結果関連タグ MTSearchResultCount、MTSearchStringなど7種類
コメント / プレビュー関連タグ MTCommentIP、MTCommentAuthorなど21種類	カレンダー関連タグ MTCalendarIfTodayなど10種類	その他のタグ MTDate、MTGoogleSearchなど18種類

タグ名>のように単体で使ったりする点や、<タグ名 属性="値">のようにしてオプションを指定できる点などは、HTMLのタグと同じだ。

これらのテンプレートタグとXHTMLを組み合わせ、blogの情報をどのような構造で表示するかを制御できる。具体的には、Movable Typeの標準メニューにある「Templateの編集」をクリックして表示されるリストから編集したいテンプレートを選んで修正することになる(図2)。

テンプレートタグを使えば簡単なプログラム言語のように条件制御できるのだが、今回は誌面の都合でそこまでは扱わない。

ほとんどタグは、基本的に「表示する/表示しない」を制御するものだ。これらを組み合わせれば、ページのコンテンツをデザインできる。

**基本的なタグだけでも
エントリーを制御できる!**

blogの中心になるのは記事 = エントリーである。エントリーの表示は、テンプレートタグでどのように表現されているのか、トップページのテンプレート「Main Index」(index.html)を開き、スタイルシートのクラス<div class="blog"></div>で囲まれエリアを見てみよう。

**テンプレートタグによる
エントリーの基本構造**

```
<MTEntries> ————— ①
<MTDateHeader></MTDateHeader> — ②
<$MTEEntryTitle$> ————— ③
<$MTEEntryBody$> ————— ④
<MTEntryIfExtended></MTEntryIfExtended> ————— ⑤
</MTEntries>
```

それぞれのタグがエントリーを構成する日付、見出し、本文などの各要素を示している。それぞれがどのような順番で表示されるかを定義しているのだ。

- ① <MTEntries></MTEntries>
このタグで囲まれた部分に、blogの設定で指定した日数分のエントリーが表示される。以下のすべてのタグは、このタグに挟まれて置かれる。
- ② <MTDateHeader></MTDateHeader>
このタグで囲まれた部分には、エントリーが投稿された日付が表示される。日付とエントリーの関係は、Movable Typeが自動的に処理してくれるので、同じ日にポストされたエントリーは1つの日付の下にリストされる。
- ③ <\$MTEEntryTitle\$>
エントリーのタイトル。

- ④ <\$MTEEntryBody\$>
エントリーの本文 (body) が流し込まれる部分。
- ⑤ <MTEntryIfExtended>
</MTEntryIf Extended>
「追記」に登録されている内容が表示されるエリア。

③ ~ ⑤ は、記事本体を示すスタイルシートクラス<div class="blogbody"></div>で囲まれている。また、ここに示したものの以外にも、コメントやトラックバックウィンドウへのリンクボタンがあるが、基本的には実にシンプルな構成になっている。これを編集すれば、エントリーの表示の構造を変えられるというわけだ。

テンプレートタグの「\$」

テンプレートタグがHTMLタグと違うのは、タグ名の前後に「\$」を付けて使うことだ。しかしこの「\$」はHTMLタグと区別しやすくするためのものなので省略してもかまわない。つまり、<\$MTBlogURL\$>と<MTBlogURL>は同じものとして扱われる。慣例的には、開きタグと閉じタグという形で使うタグには「\$」を付けずに使い、開き閉じのない単体のタグには「\$」を付けているようだ。

図2 「Templateの編集」で編集するテンプレートを選ぶ



最初は、トップページの表示に使われるMain Indexテンプレートを編集してみよう。



基本的なテンプレートタグでページをカスタマイズしてみよう

トップページにオリジナルの要素を追加するのだ

それでは、前述のエントリーを構成する簡単なテンプレートタグを使って、blogのトップページに新しいコンテンツを追加してみよう。

編集するのはトップページのテンプレート「Main Index」だ。紹介するテンプレートタグを、`<div class="blog"></div>`で囲まれた、記事リストが表示される部分に入力してRebuildし、トップページの表示がどのように変わるかを見てみよう。

最近更新された記事リストを表示してみよう

まずは、エントリーのタイトルを表すテンプレートタグ`<$MTEEntryTitle$>`を使って、タイトルを列挙する仕組みを作ってみよう。`
`は改行を表すXHTMLのタグだ。改行を入れなければ、文字列が固

まりとなって並ぶだけになってしまう。

最近更新された記事リストのタグ(1)

```
最近更新された記事<br />
<MTEEntries>
<$MTEEntryTitle$><br />
</MTEEntries>
```

このタグは、図3のように表示される。

この場合、タイトルリストだけしか表示されないのが実用性に問題がある。そこで次に、各記事に対するURLを表すテンプレートタグの`<$MTEEntryPermalink$>`を使ってみよう。

最近更新された記事リストのタグ(2)

```
最近更新された記事<br />
<MTEEntries>
<$MTEEntryTitle$>
(<$MTEEntryPermalink$>)<br />
</MTEEntries>
```

これで、タイトルの下にエントリーページへのリンクURLが表示される(図4)。しかしこれだと見た目がうるさい、他の方法はないだろうか？ 実は、テンプレートタグは、XHTMLのタグと組み合わせて使えるのだ。``タグとテンプレートタグを組み合わせて、タイトルにエントリーへのリンクを作ってみよう。

最近更新された記事リストのタグ(3)

```
最近更新された記事<br />
<MTEEntries>
<a href="<$MTEEntryPermalink$>">
<$MTEEntryTitle$></a><br />
</MTEEntries>
```

各タイトルにリンクが張られるようになって機能的ですっきりした(図5)。

お気づきの人もいるかもしれないが、これはデフォルトのMain Indexのサイドメニュー(スタイルシート`<div class="links">`の部分)にある「最近のエントリー」と同じ

図3 見出しだけが並んだエントリーリスト



「最近更新された記事」としてエントリーの一覧を表示した。

図4 URLを表示したエントリーリスト



タグにはエントリーの見出しを表示するタグ、URLを表示するタグなどさまざまなタグがある。

構成である。

では次に、このテンプレートをさらにカスタマイズして、「注目の記事リスト」に進化させてみる。

「注目の記事」だけをリスト表示しよう

例として挙げた「MTEntries」では、表示するエントリーの条件を指定できる。前述の例では条件を何も指定していないので、トップページに表示できるすべてのエントリーがリストアップされるようになっていく。このタグの中に条件を記述することで、どのエントリーを表示するかを制御できる。

この条件には、「著者」「カテゴリ」「日付」が指定できるが、筆者の経験上カテゴリを使うのが一番自由度があって使い勝手がいい。カテゴリは、Movable Typeに標準で搭載されている機能だが、自分で設定をしなければ表示されないことがない。設定は、「メインメニュー」「Categoryの編集」から行うことができる(図6)

このカテゴリを使って、数あるエントリーの中から「注目の記事」を選択し、それだけをトップページにリスト表示してみ

る。実際には特定のカテゴリの記事をトップページにリスト表示する作業だ。

- ① カテゴリ「topics」を作る。
- ② 注目の記事にしたいエントリーを、カテゴリ「topics」に設定する。
- ③ エントリータグに条件を記述する。
- ④ エントリーリストを表示するタグである<MTEntries></MTEntries>の開きタグ<MTEntries>にカテゴリを指定する「category="topics"」という要素を追加する。

これでtopicsカテゴリのエントリーだけが表示されるようになる。

ここで、先ほど最新エントリーリストを作ったテンプレートタグを使って、注目の記事リストを作成してみよう。以下のような内容に変更すれば、topicsに指定したエントリーだけがリスト表示されるはずだ。

「注目の記事」だけを一覧表示するタグ

```
注目の記事<br />
<MTEntries category="topics">
<a href="%$MTEntirePermalink$">
<$MTEntireTitle$></a><br />
</MTEntries>
```

トラックバックを記事の下に表示させよう

トラックバックは、自分のエントリーと他のblogのエントリーとの関係を視覚的に表示してくれる、blogから始まった新しい仕組みだ。ウェブ上で自分のページにリンクを張っている記事があっても、今まではそれを知ることはできなかった。トラックバックは、「Aさんのblogのこういうタイトルの記事が、BさんのBlogのこの記事に対してリンクを張っている」ということをBさんのBlogが表示できる機能だ。blogger同士のコミュニケーションだけでなく、読者がエントリーと関連する(または周辺の)情報をスマートに得られる。まさにblogの醍醐味の1つであると言われるものだ。しかし、デフォルトでは表示されるのは“トラックバック数”のみ。ここからウィンドウを開かないと、どの記事からトラックバックされたのかを知るすべがない(図7)。

そこで、エントリーの下に、どこからトラックバックされたのかをリスト表示してしまおう。トラックバック情報を表示させる<MTPings></MTPings>というタグを使えばいい。このタグの中では、次の表示タグが利用できる。

図5 リンクを付けて「最近更新された記事」の完成

- 最近更新された記事
- ・メーリングリストマネージャーmelpod販売開始
 - ・Geeklogについて
 - ・WinEで個別記事または個別コメントの文字が真っ白になってしまう問題
 - ・MTに合うサーバー合わないサーバー
 - ・Mac SafariでBookmarklet使用可能に
 - ・PostgreSQLへの移行
 - ・MT以外のCMSの情報も募集しています
 - ・インストールに関するトラブル質疑応答
 - ・スタイルシートの構成要素

テンプレートタグ 見出しテキストとURL とHTMLタグ リンクのための<A>タグをうまく組み合わせてエントリーリストの完成だ。

図6 カテゴリの設定



カテゴリはいくつでも作成できる。フィールドに名前を入力して「Save」ボタンを押せば新しいカテゴリを追加できる。次にエントリーを作成・編集するときから、カテゴリを選択できるようになる。なお日本語のカテゴリ名は、後々トラブルを起こすので使えない。

トラックバックタグ「<MTPings > </MTPings >」内で使えるタグ

<\$MTPingBlogName\$>

トラックバックのPingを打ってきたblog
の名前

<\$MTPingURL\$>

トラックバックのPingを打ってきたblog
のURL

<\$MTPingTitle\$>

トラックバックのPingを打ってきたエン
トリーのタイトル

<MTPings>タグは、エントリーを表示さ
せる<MTEntries></MTEntries>タグの中
に置くことに注意してほしい。また、
新しい要素を追加する場合はスタイルシ
ートやタグで文字サイズの
指定が必要になることがある(図8)。

受けたトラックバックを表示させるタグ

```
<MTEntries>
```

```
.....記事を表示するタグ.....
```

```
「トラックバックリスト」<br />
```

```
<MTPings >
```

```
<a href="<$MTPingURL$>">
```

```
<$MTPingTitle$>
```

```
(<$MTPingBlogName$>)</a><br />
```

```
</MTPings>
```

```
</MTEntries>
```

カテゴリー名を使って メニューを作ろう

前述した「カテゴリー」の仕組みは、記
事の数が増えていったとき、効率よく整理
するのにおいに役立つ。そこでカテゴ
リーの名前をリスト表示して、「目次」とし
て活用してみよう。

ここで登場するのは、カテゴリーを扱う
「<MTCategories></MTCategories>」と
いうタグだ。これらを組み合わせてメニ
ューを作ることができる。サイドメニューの目
立つ場所に設置しよう(図9)。

MTCategoriesタグで使える表示タグ

<\$MTCategoryArchiveLink\$>

カテゴリーアーカイブへのURL

<\$MTCategoryLabel\$>

カテゴリー名

カテゴリーメニューを表示するタグ

```
<MTCategories>
```

```
<a href="<$MTCategoryArchive
```

```
Link$>"><$MTCategoryLabel$></a>
```

```
<br />
```

```
</MTCategories>
```

メニューとするためにカテゴリーページ
へのリンクを作成。1項目ずつ改行する。

カテゴリーメニューを 日本語にしよう

カテゴリーは設置できたものの、カテゴ
リー設定時の「カテゴリー名」は英数字し
か使えず、メニューとして使うには問題が
ある。しかし、カテゴリー名で日本語を使
うことはできない.....。

そこでカテゴリーを日本語化する裏技を
紹介しよう。要は、カテゴリー自体の名前
には日本語は使えないが、カテゴリーの説

カテゴリー アーカイブのチェック

もしカテゴリーメニューリストのRebuildに失
敗するときは、メインメニューから「BLOGの設
定」「アーカイブの設定」を開き、「Archive
の種類」列にある「Category」にチェックがあ
るかを確かめよう。ここがチェックされてい
ないと、カテゴリーアーカイブは作成されず、メ
ニューリストはRebuildできないのだ。

カテゴリーアーカイブのチェック

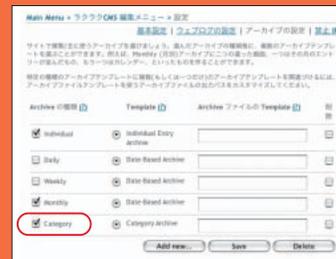


図7 コメント・トラックバック表示欄

2003年07月03日

MTに合うサーバー合わないサーバー

どのホスティング会社でも、問題なくMTをインストールできるのだろうか？情報や知識・経験をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非教えていただけると嬉しいです。BerkeleyDBを使うとして、たぶん制限となるのは・Perlのライブラリ くらいなのかと安易に考えているのだが、本当に正しいのか。(そういえば、infoseekがわざわざ「MT対応しました」といってくるくらいなので、もしかすると細々としてチェックポイントがあるのかもしれない。) [続きを読む「MTに合うサーバー合わないサーバー」](#)

Posted by maskin at 16:54 | コメント (2) | [トラックバック \(1\)](#)

普通のホームページにはない、blogならではのコミュニケーション機能。せっかく新しい機能なのに、リンク数しか表示されないのは寂しい。

図8 トラックバックリストの表示

2003年07月03日

MTに合うサーバー合わないサーバー

どのホスティング会社でも、問題なくMTをインストールできるのだろうか？情報や知識・経験をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非教えていただけると嬉しいです。BerkeleyDBを使うとして、たぶん制限となるのは・Perlのライブラリ くらいなのかと安易に考えているのだが、本当に正しいのか。(そういえば、infoseekがわざわざ「MT対応しました」といってくるくらいなので、もしかすると細々としてチェックポイントがあるのかもしれない。) [続きを読む「MTに合うサーバー合わないサーバー」](#)

Posted by maskin at 16:54 | コメント (2) | [トラックバック \(1\)](#)

「トラックバックリスト」
・ [meipod様 \(1\)](#) 「意外と高いMLへの期待」 (METAMIXI maskin's Blog)

この例ではエントリーの下に、トラックバックをしてきたblogのエントリーへの逆リンクを表示している。記事中表示されるリンクなどとは違い、このエントリーと同じ視点で書かれた記事などがトラックバックされてくるので、読者にとっては有益な情報となることが多い。

明には日本語を使えるのでそれを利用するのだ。

「メインメニュー」から「Categoryの編集」を開き(図6の画面)各カテゴリーの右側にある「カテゴリーの設定を編集する」をクリックしよう。このページにある「Categoryの説明」に、カテゴリーの日本語表記を入力して「SAVE」ボタンを押す。メニューリストでこの部分を表示する<MTCATEGORYDESCRIPTION\$>タグを使えば、日本語メニューができていく(図10)。

日本語でカテゴリーメニューを作るタグ

```
<MTCategories>
<a href="<$MTCATEGORYARCHIVE
Link$>">
<$MTCATEGORYDESCRIPTION$></a>
<br />
</MTCategories>
```

この部分で「カテゴリーの説明」を表示している。

まとめ

今回覚えたことを踏まえれば、すべてのタグを覚える必要もなく、テンプレートデ

ザインをイメージできるはずだ。結構へびな内容だったが、テンプレートタグでできることを何となくつかめたのではないかなと思う。次回は、今回覚えた基本をベースに、テンプレートタグの上級テクニックやプラグインを使って、大胆にリデザインしてみたいと思う。

実際にMTで作った、本連載のサポート用のサイト「ラクラクCMSブログ」では、今回も連載の内容を反映しているので参考にしてほしい。また、筆者のブログ「METAMiX! maskin's Blog」内にも関連

情報がある。最新動向はここでチェックだ。

Movable Typeウェブサイト
URL① <http://www.movabletype.org/>

「ラクラクCMSブログ」
URL② <http://www.metamix.com/rakuraku/>

METAMiX! maskin's Blog
URL③ <http://www.metamix.com/>

フリージャーナリスト増田(maskin)真樹
Blog: metamix.com

書籍ならテンプレートタグの解説が日本語で!

Movable Typeのメニュー上部にある「HELP」をクリックして表示するユーザーマニュアルには、テンプレートタグの詳しい解説がある。ただし英語だ。

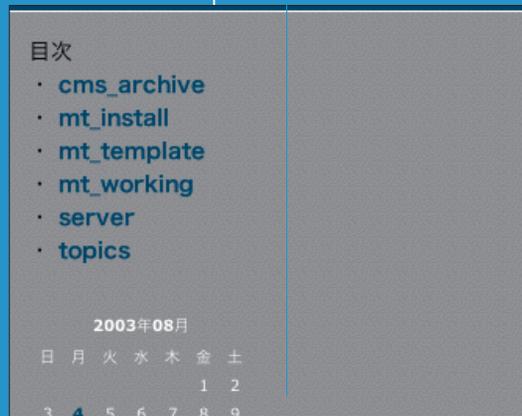
そこで、先月号でも紹介したが、8月4日に発売された書籍『Movable Typeで今すぐできる ウェブログ入門』の出番だ。ユーザーマニュアルの日本語訳が掲載されているので、テンプレートタグの情報はバッチリだ。ぜひ参考にしてほしい。ただし、大人気なので書店では売り切れているかも。確実に入手したい人はImpress Directなどのウェブ書店をチェックだ!

Impress Direct
URL <http://direct.ips.co.jp/>



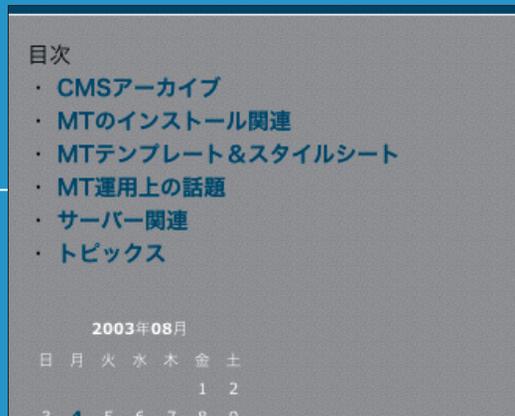
『Movable Typeで今すぐできる
ウェブログ入門』
240ページ / B5変型
定価(本体1,800円+税)
ISBN:4-8443-1812-8

図9 カテゴリーメニューの表示



カテゴリーを表示することができた。しかし、英数字しか使えず見栄えが悪い。

図10 日本語カテゴリーメニューの表示



日本語化されたカテゴリーメニューリスト。圧倒的に見やすくなっている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp